

RAGHURAM RAJAN

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- Author of 'Fault Lines: How Hidden Cracks Still Threaten The World Economy', Former Governor of the Reserve Bank of India



Raghuram Govinda Rajanは、2013年9月4日にインドの中央銀行を担当し、Duvvuri Subbaraoの後任として、インド準備銀行の第23代総裁に就任しました。現在、国際決済銀行の副会長を務めています。

Raghuramは現在、シカゴ大学のビジネススクール・オブ・ビジネスのEric J. Gleacher Distinguished Service Professorとして不在休暇を取っています。

2007年に教育を再開する前は、RaghuramはInternational Monetary Fundのチーフエコノミスト兼リサーチディレクターでした。それ以来、彼は、2008年に報告書を提出したインド政府の金融セクター改革委員会の議長を務めてきました。

Raghuramの研究分野は、銀行業務、企業金融、そして経済発展、特に金融が果たす役割です。彼の論文はすべてのトップエコノミクスとファイナンスのジャーナルに掲載されており、彼はアメリカの経済レビューとファイナンスのジャーナルの編集委員会を務めています。彼は最近Fault LinesというタイトルのGoldman Sachs Book of the Year賞を受賞した本を書いた。彼はまたLuigi Zingalesと共著した、資本主義者からの資本主義の節約という題名の以前の本も持っています。

彼はBDT Capital&BoozおよびCoの上級顧問であり、Bank Itau-Unibancoの国際顧問委員会のメンバーです。彼は、シカゴ国際問題評議会および米国諮問評議会の総長を務めています。

Raghuramは、米国財務協会の会長でもあり、アメリカ芸術科学アカデミーの会員でもあります。2003年に、アメリカの金融協会はRaghuramに2年ごとに40歳未満の金融経済学者に初のフィッシャーブラック賞を授与しました。そして、それは金融の理論と実践に最も重要な貢献をしました。

Topics

- Economics
- Finance
- Politics